くまもとＳＤＧｓアワード2026

熊本県立八代工業高等学校　工業化学科クレヨン班

Re:COLOR(リ・カラー)

ー廃棄される鹿皮や野菜、花を活用した画材の開発と環境教育ー

【取り組み内容】

・学校近隣の農家や花屋で規格外野菜やロスフラワーの調査。

・第一弾：各機関と連携し廃棄される植物からクレヨンを製作。

・**保育園、学童保育所、小学校で出前授業を開催**し、食品ロスやロスフラワーの環境教育とクレヨンの試し描きを実施。

・**熊本ダイハツ販売株式会社県下全店舗や地元店舗で展示**を実施。

・第二弾：害獣駆除された鹿の皮から膠を作り絵具を製作。御船高校芸術コースに作品制作を依頼。**展示会と体験会を実施**。







評価項目ごとの取り組みの特徴・ポイント	
普遍性	安価で簡単に製作できる画材を用いて環境教育やワークショップ、作品展示をおこない、幅広い年齢層の方に体験を通して学びを提供。工業化学科クレヨン班として**３年間継続して活動**し、**環境教育の対象範囲も広がっている**。
包摂性	幼児や小学生から大人まで、**親しみやすい「クレヨン」や「絵具」を通して**環境問題について知り、考えるきっかけを提供。
協働性	**大学、県内高校、近隣小学校、県内企業などと連携**し原料の調達から、製作の技術協力、出前授業、展示場所の提供を受け活動。
統合性	食品ロス、ロスフラワー、害獣駆除された動物の皮の廃棄、放置竹林の伐採後の竹などの活用。**廃棄物を画材に変換することで、全世代へのSDGsの啓発へとつなげる**。高校生が活動することで、自らの環境問題に関する学びとする。
透明性	出前授業や展示の際に**アンケートを実施**。画材や企画内容の改善に活用。活動は、**学校公式HPやInstagramで発信**。**地元ラジオ・雑誌にも出演**。

貢献するＳＤＧｓのゴール

